

設置の前に

■床面について

- 床面材料・床面仕上げ材は、防水材もしくは防水加工したものを使用してください。
- この製品は重さが最大55kgあります。設置床部分には十分な補強工事を行ってください。
- 床面は必ず水平を確保してください。
- 床面は、取付部分に凹凸がないよう平滑にしてください。
- 配管立上について

給湯・給水	Rc1/2 “	床面立ち上げ配管	立ち上げ寸法	給湯：50mm 給水：50mm
排水	V U40/V P40	床面立ち上げ配管	立ち上げ寸法	60mm

- 床仕上げがタイル等の素材の場合、本体取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、製品固定位置図および型紙を参考に、床と接触している取付部分は合板、モルタル等の素材に変更してください。

- 床面には以下の強度が必要です。

木製床の場合	ベニア厚は30mm以上(15mm板2枚重ね以上)、床補強材は300mmピッチ以下です。
モルタル床の場合	モルタル厚は50mm以上です。
特殊な床(石張り等)の場合	設置位置に上記の強度を確保した土台が必要です。

■漏水対策について

- 階上設置される場合は、必ず防水処置(防水工事、ステンレス鋼板製のパンの設置、もしくは漏水センサーの設置等)を行ってください。
- 配管立ち上げ部の開口部と配管との隙間は必ずコーキング剤等でふさいでください。

■配管施工について

ここに書かれた事項は、配管施工に関する重要な内容です。
この内容を十分にご確認の上、正しい配管工事を行ってください。

- 本製品を設置されるときは、『タカラグループ給排水設備工事標準』、および本書の『配管施工上の注意』に基づいて配管施工を行ってください。注意を怠って配管されると、ミキシングが満足に働かず、一定温度のお湯が得られないことがあります。
- 本製品は室内専用です。設置は必ず室内に行ってください。

■配管施工上の注意

○給水（一次給水）配管

- ・市水道直圧管の場合、各水道局指定の工事店に依頼し、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
- ・市水道直圧管以外（高架水槽下り給水管等）の場合、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。

○給水配管には錆の発生する管材料は使用しないでください。

原則としてVP管または、その地域の指定材料をご使用ください。

○給湯配管には原則として脱酸銅管、Lタイプを使用してください。

○給湯・給水配管は原則として同径同圧にしてください。

○管の切断面は必ずリーマをかけてバリ取りをしてください。

○空気溜りの原因となる逆U字配管（鳥居配管）は避けてください。

○給湯・給水管内の配管くず・ゴミ・砂・油はトラブルの原因になりますので、必ず除去してから配管接続をしてください。

○配管接続を行い、通水テスト後にストレーナーおよびシャワーヘッドの掃除をしてください。

○排水管の勾配は、排水管径φ75未満は1/50以上、φ75以上は1/100以上にしてください。

○湯・水を逆配管しないでください。

逆配管は水栓金具の温度調節不良の原因になり、やけどの危険があるなどトラブルの原因となります。

○給湯機からの給湯配管は、抵抗を少なくするため最短距離にしてください。

長くすると温度変化やお湯の出が悪くなる原因になります。

○配管後は、必ず保温材を巻いてください。

○温水ボイラーの配管について

- ・給湯本管・給水本管は原則として同径同圧にしてください。
- ・温水ボイラー設置については、必ず専門業者に施工依頼してください。

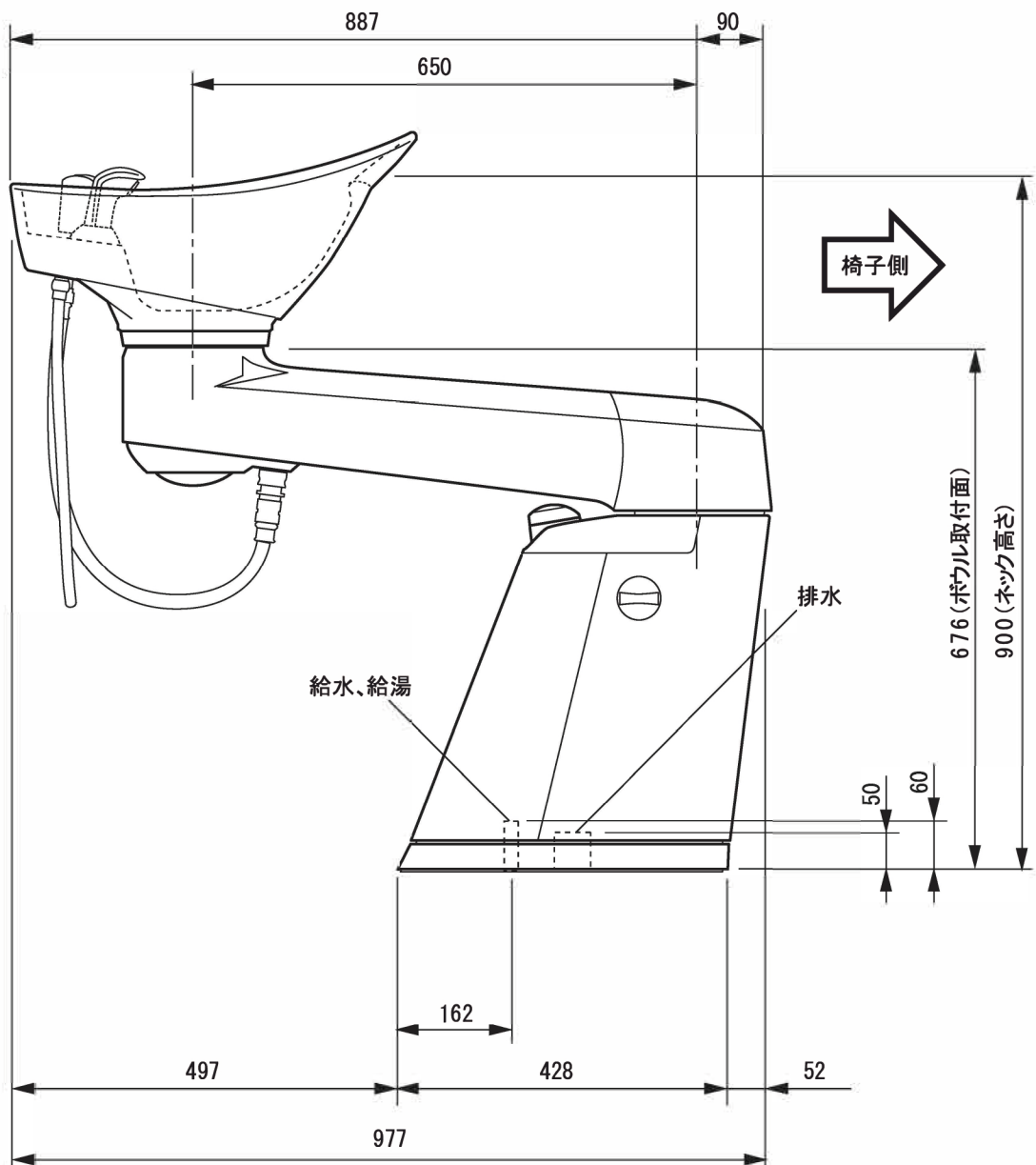
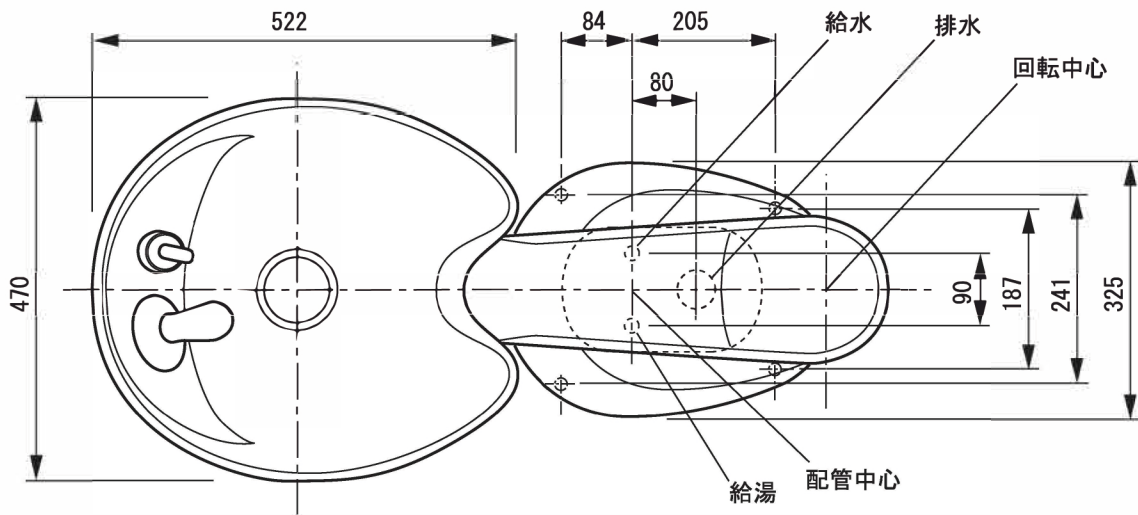
○器具にヘアキャッチャーが内蔵されています。

使用条件

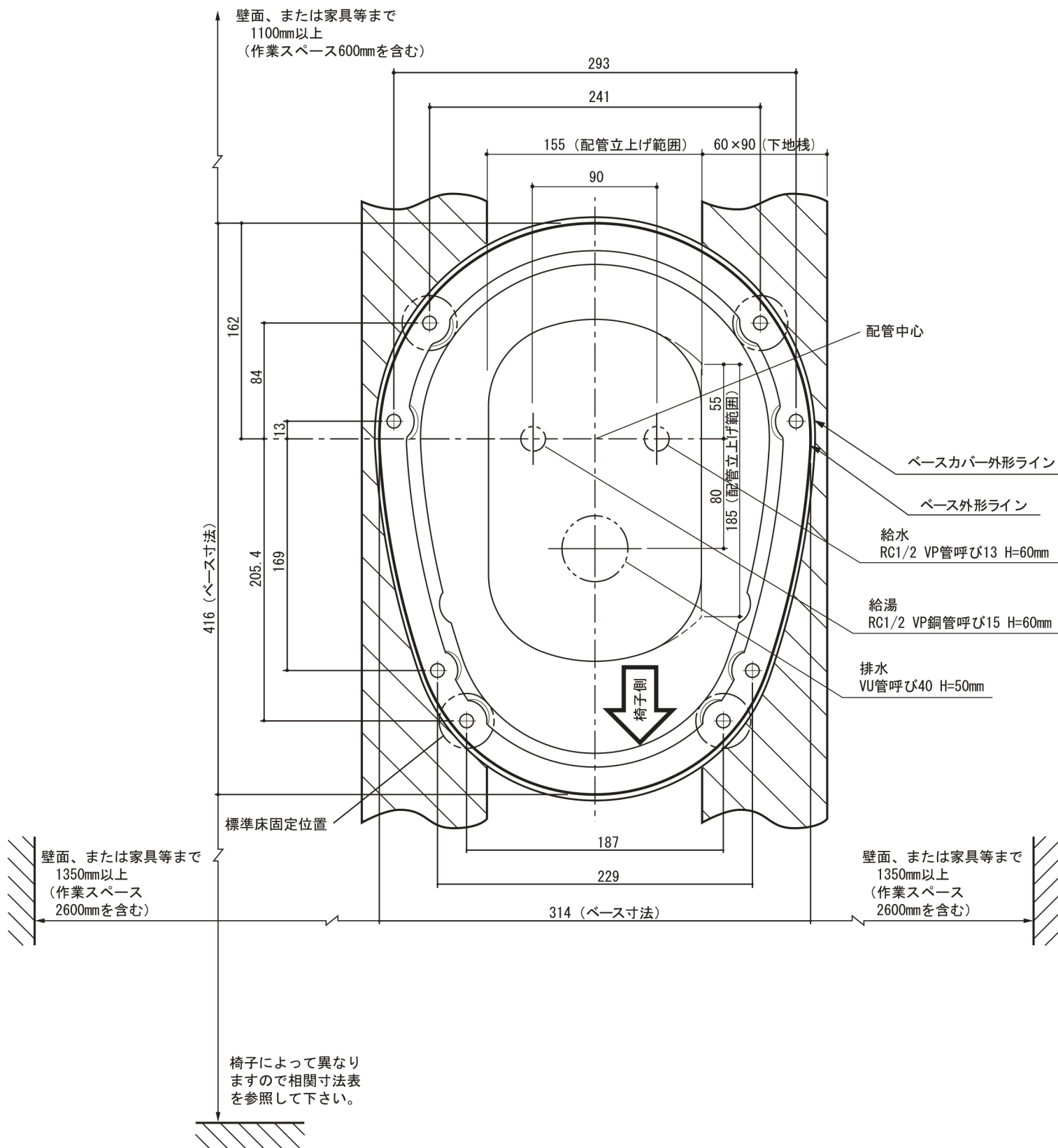
■使用給湯・給水条件

使用水	<ul style="list-style-type: none">・上水道水（飲料不可の井戸水やサビ・砂を含んだ水は使用しないでください。）・硬度が80ppm以上の場合、機器本体へのスケール詰まりを予防するため、軟水器による処理を行ってください。また、飲料可能な井戸水の場合、シャンプー時に泡が立ちにくい場合がありますので、同様に軟水器による処理を行ってください。
給湯・給水圧力	<ul style="list-style-type: none">・0.1~0.4MPa(1~4kgf/cm²)の範囲にしてください。また、複数台での使用の場合でも0.1MPa(1kgf/cm²)以下にならないようにしてください。・給水圧力≧給湯圧力にしてください。・給湯圧力と給水圧力の差は、0.2MPa(2kgf/cm²)以内にしてください。
機器への給湯温度	<ul style="list-style-type: none">・給湯温度は80℃以下にしてください。・使用シャワー温度より10℃以上高くしてください。
給湯機	<ul style="list-style-type: none">・給湯機は、理美容サロン専用の暖流システムのご使用をおすすめします。その場合の施工方法は、『タカラ同時給湯システム暖流工事の手引き』を参照してください。・瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16号以上を使用してください。（洗髪能力は瞬間湯沸かし器1台につき、YUME 機器1台です。）・貯湯式ボイラーをご使用の場合は、貯湯式ボイラー説明書を参照してください。・給湯には蒸気を使用しないでください。

全体レイアウト図

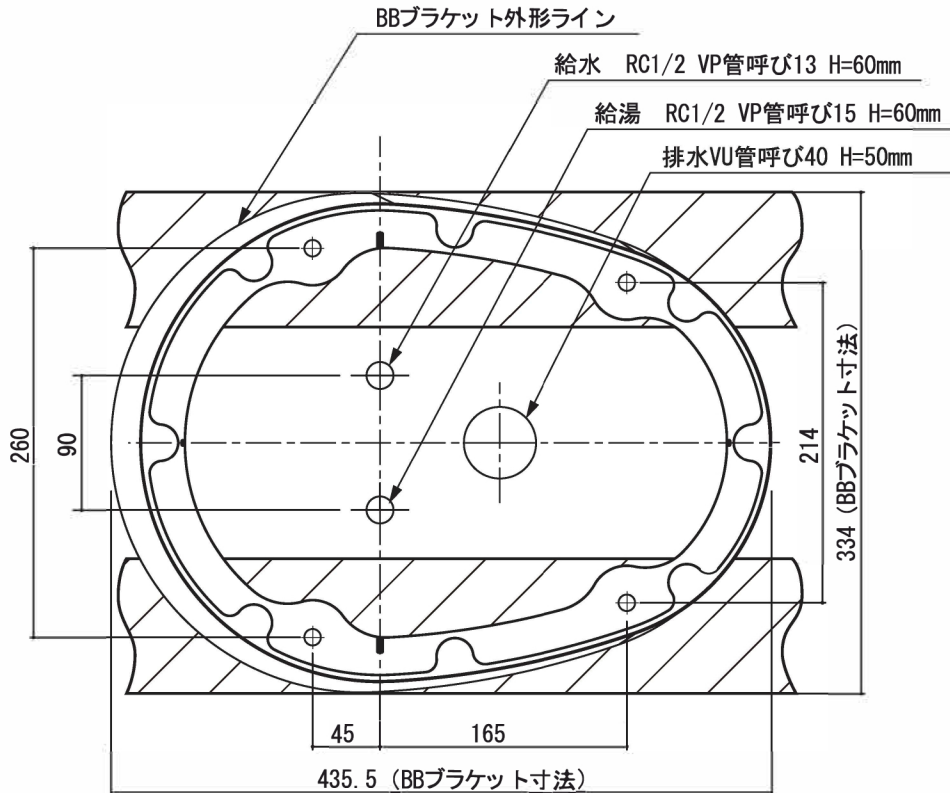


製品固定位置（施工配管図）



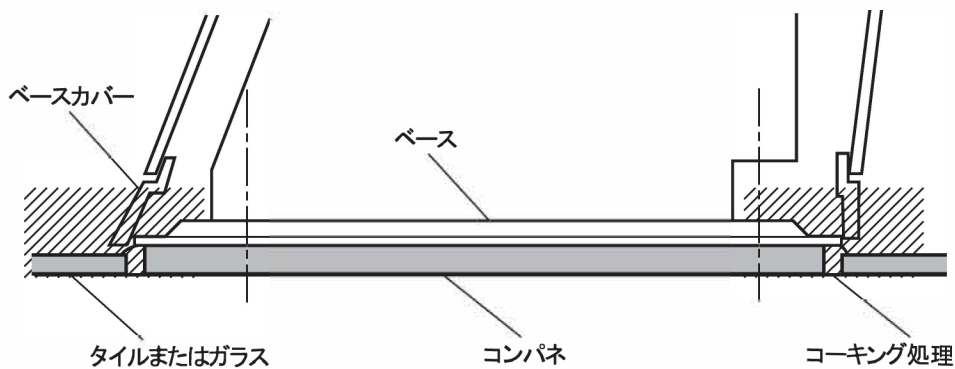
● ベースの固定位置

- ・ 印の穴が標準床固定位置です。確実に4カ所を固定して下さい。(アンカーボルト M8×70 (4ヶ)、もしくは六角タッピングボルト 8mm×60 (4ヶ) で固定)
- ・ 標準位置が使用できない場合隣接する取付穴に固定してください。
- ・ また、床強度が低い場合など取付強度が十分に確保できない場合は固定本数を増やして下さい。



● BBブラケットの固定位置

※ BBブラケット取付の場合は、通常の固定穴位置と異なります。（下地棧寸法は同一）
上図を参考にしてください。



●床面がタイルおよびガラス仕上げの場合

床面仕上げがタイル等の素材の場合、シャンプーユニット取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、取付部分は合板、モルタル等の素材にしてください。

- ① ベース外形ラインに沿って、内側のタイルまたはガラスをはく離します。
ベースカバー外形ラインとの間隔が狭くなっている為、入念に仕上げて下さい。
はく離部分が見える可能性があります。
- ② はく離した部分の内側にコンパネを敷きます。コンパネは、周囲のタイル、ガラスよりも高くなるようにしてください（2～3mm以内）。
- ③ コンパネと仕上げ面とのすき間をコーキングしてください。